

# Radiator Probe

## PRODUCT NAME

Radiator Probe

## TYPE

ラジエータープローブ

## PRODUCT CODE

S\_KPS\_qxpkjf

S\_KPS\_bujh36



図1. ラジエータープローブ 標準構成1  
(S\_KPS\_qxpkjf)

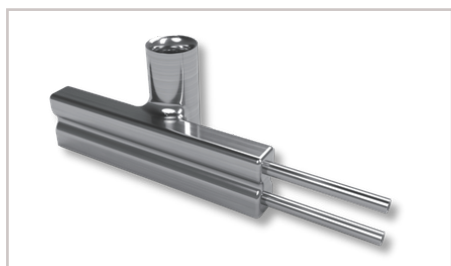


図2. ラジエータープローブ 標準構成2  
(S\_KPS\_bujh36)

## 概要

### 全圧および質量流量計測

Vectoflow のラジエータープローブは、ラジエーターを通過する全圧および質量流量分布を計測するために専用設計された製品です。本プローブは流体の全圧と基準静圧を同時に捕捉する機能を備えており、ラジエーターの各箇所に複数のプローブを配置することで、セクションごとの局所的な質量流量を計測し、流れの均一性を正確に評価することが可能になります。

利便性を追求した設計により、プローブをラジエーターへ直接取り付けて冷却管の直前に高い精度で配置できるため、ブロッキング効果を最小限に抑え、流れへの干渉を低減した安定した計測を実現します。また、この手法はラジエーター本体に大きな改造や損傷を加えることなく運用できるため、計測後は容易に取り外して別の試験にて繰り返し再利用できる高い柔軟性を備えています。

## 寸法・形状

プローブ形状	2種類の標準構成 (図1および図2を参照)
圧力ポート数	1 (静圧を含め2ポート)
プローブ先端直径	1.6 ~ 5 mm
プローブ先端形状	キール型
材質	ステンレス
圧力ポート	標準 1 mm

## 動作環境

動作温度	最大 230°C
媒体	空気およびその他の非腐食性ガス
湿度	0 ~ 95%, 結露がないこと

## 計測仕様

角度範囲	±30°
角度精度	< ±1°

## デザイン

Vectoflow のラジエータープローブには、図 1 および図 2 に示す 2 種類の標準設計があります。本プローブはメタル 3D プリンティングによる積層造形によって製造されており、堅牢な一体型構造を特徴としています。積層造形技術は設計、サイズ、材質の選択において極めて高い柔軟性をもたらすため、個別の要求に合わせてプローブの設計をカスタマイズすることが可能です。お客様の用途に応じたカスタムソリューションについては、お気軽にお問い合わせください。

プローブヘッドにはキール型を採用しており、広範囲（最大 ±30°）の迎角に対しても全圧を極めて正確に計測できます。ラジエータープローブは、前方（図 3）または後方（図 4）から取り付けることが可能です。ラジエーターを通過する流れの入射角が大きい場合に、質量流量を正確に特定するには、後方からの取り付けを推奨します。

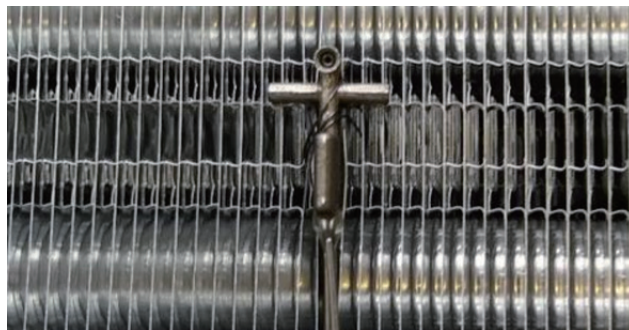


図 3. ラジエーターへのプローブ (S\_KPS\_qxpj) の前方取付

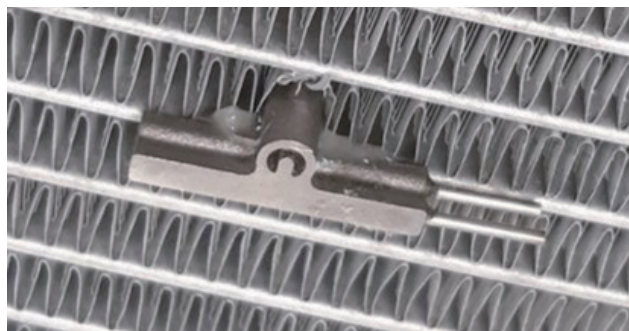


図 4. ラジエーターへのプローブ (S\_KPS\_bujh36) の後方取付

## 校正

質量流量を極めて高い精度で計測するためには、プローブをラジエーターに取り付けた状態で、質量流量に対する校正を行う必要があります。

Vectoflow でのプローブ校正に関する詳細については、お気軽にお問い合わせください



## 株式会社大手技研

ホームページ <https://www.ohtegiken.co.jp>  
E-Mail [main.sales@ohtegiken.co.jp](mailto:main.sales@ohtegiken.co.jp)



2604A